

年末をあと数日に控えて会員の皆様にはお元気でご活躍の事と拝察いたしております。

過ぎた1年間、皆様方にはひとかたならぬご理解とご支援を賜り、会議所が予定したすべての事業は予想以上の成果を上げ、市民の皆様からもお誉めをいただくことができました。ありがたく御礼を申し上げます。来る年もまた皆様方が健康で豊かな年でありますよう祈念いたしております。

来年の君津市経済を私が占うことは無理であります。来年は間違いなく大きな転換の時期の到来であります。

①先ザイトーヨーカ堂の撤退後の対応であります。予想されることは三井物産㈱が買収し駅周辺を含めた多目的な再開発をするのではと思われます。地域住民、地元商店会の希望にもかなり応えてくれそうな地域開発策を展開するものと思われ期待を持って見守っております。この君津駅北側のミニ開発をビジネスチャンスとして活かす工夫が早急に求められています。

②としては19年秋にオープンが予定される木更津市・築地の超大型商業施設開発は、現在千葉市蘇我にあるアリオの2倍ともいわれるまさに巨大なものであります。今まで木更津は、人口の増大を見込んで都市機能を拡大分散させた結果、全国に類例のない資産デフレを起し、都市機能、特に商業機能を崩壊させてしまいました。同じ轍を踏まないようにと祈る思いであります。

こうした状況にあって対岸の羽田空港のD滑走路は21年に供用開始が見込まれております。現在、離着陸約28万回、乗降客凡そ6千万人です。単純計算しても1.5倍の1億人近い乗降客は羽田のキャパシティではオーバフローしてしまい、アクアライン、圏央道、成田を結ぶ木更津へと多く流入することが想定されます。現在ある龍宮城やベイプラザはこれらを折り込んでの出店と考えられます。

また、館山道が貫通し、410号は圏央道に連結し相乗効果となり君津は首都圏の交通の要衝となるでしょう。「かずさ地域」への恩恵は大なるものと期待して準備を怠らない18年度にしなければなりません。

地域の経済総合団体である会議所に皆様の意見、要望をどんどんお聞かせ下さい。会議所は皆さんの意見、要望を行政、大企業、市民社会へと反映させると共に、会員にも綿密な指導、助言を積極的に行い、大規模商工業と共存・調和を図る地域経済のリーダーとしての役割を果たしてまいります。

どうか来る年が次世代へと誇って継承できる土台を作る年となり、夢と希望に満ちた生甲斐のある年としてください。

「捨てないから夢近づいて来る」であります。